

かすや 議会だより



届け、私のフリースピーチ！ かすやの未来へ



粕屋町議会ホームページ

挑む議会 P2~P3 ・ 委員会レポート P6~P7



福岡県粕屋町議会



議会

あなたの**声**が
かすやの未来を
変える!

粕屋町議会史上初 議場フリースピーチの開催

フリースピーチとは？

町民の皆さまの声を直接議会に届ける新たな取り組みです。議会と町民が対話を重ねながら、共に考え、共に創るまちづくりを目指しています。



「挑む議会」の実践として、議会モニター(CCP)2名による議場フリースピーチを試行的に実施しました。議会と町民が共に創るまちづくりへの新たな一歩となりました。



次は
あなたの
番です

議員のみならず、町長をはじめ執行部も傍聴し、町民の提案に真剣に耳を傾けていました。

今後は一日も早く、町民がどなたでも参加できるフリースピーチの仕組みを整えていきます。

全国各地から視察にお越しいただいています

岡山県美咲町議会 議会運営委員会の皆さま

実施日 令和8年6月24日(水)

議会改革・活性化の取り組みについて

「挑む議会」を掲げて進める議会改革・活性化の取り組みを紹介しました。議会局への移行や議会モニター制度など、議会のあるべき姿を追求する粕屋町議会の挑戦をお伝えしました。



挑む

議員研修会の実施

『研修は知識を得る場ではない。
未来を創る力を磨く場である。』

実施日 令和8年4月2日(木)・3日(金)

テーマ 「政策形成サイクルの確立と委員会での具体的実践について」

一般社団法人
地方公共団体
政策支援機構

上席研究員
わたなべ たい き
渡辺 太樹氏



前回学んだ「能動的に動く議会」を
一歩前へ進めるため、今回は町が抱え
るさまざまな「違和感」を出発点に委員
会で議員間討議を実施しました。議会
として何を課題と捉え、どう行動すべ
きを自ら考え抜く、実践型の研修とな
りました。



対話による地方議会活性化 フォーラムin粕屋

粕屋町議会共催による地方議会
活性化フォーラムを開催しました。

全国トップクラスの議会改革に
取り組む北海道登別市議会前議長
辻ひろし議員、北海道鷹栖町議会
青野敏議員を招き、「開かれた議
会」の実践を共有。当日は全国か
ら多くの議員が集い、住民参加や
議会改革の未来を議論しました。

粕屋町から地方議会の新たな可
能性を発信する機会となりました。



ワークショップを開催

日時 令和8年6月25日(木)
19:30～21:30

「第2回CCP会議で最も多く出された
ご意見をさらに深掘り」

テーマ① 多様なニーズに応え集える名所
駕与丁公園となるためには

テーマ② 町に必要な子どもの居場所とは

町の未来を熱く語る時間となりました。
いただいたご意見を基に政策提言に向け、
調査・研究を進めていきます。



心よりお慶びを 申し上げます

やすかわとしひこ じょくん きょくじつたんこうしょう
安川俊彦元議長が高齢者叙勲の旭日単光章(地方自治功労)を受章されました。長年にわたり町政及び議会の発展に尽力され、そのご功績が認められたことを大変喜ばしく思います。これまでのご功績に深く敬意と感謝を申し上げます。

(ご本人コメント)

今回はこのような名誉を賜り、心より感謝申し上げます。現役時代を振り返りますと、「糟屋6町合併協議会の設置」を巡る議長裁決と、「議会基本条例」を全会一致で制定できたことは、今も忘れることのできない思い出です。今後とも粕屋町議会に変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



議会ピックアップ

令和8年 第2回(6月)定例会

会期は6月5日から6月16日までの12日間で開催しました。
(審議結果は8ページに掲載しています。)

○議案第64号 財産の取得について(消防ポンプ自動車) (8ページに討論を掲載しています。)

使用開始から19年が経過した粕屋町消防団第2分団(受持ち区域/上大隈区)
消防ポンプ自動車が条件付一般競争入札により落札されました。

- 契約の金額：2838万円(税込み)
※財源は、福岡空港環境整備助成事業を活用
1135万円(補助率40%)
- 契約の相手方：株式会社九州防災センター
代表取締役 永江 昭浩
- 契約の期間：令和9年3月31日まで



19年間お疲れ様でした

○議案第63号 工事請負契約の締結について(仲原保育所移転改修工事)

閉園した仲原幼稚園を、定員60人規模の保育所として再整備するための改修工事が、条件付一般競争入札により落札されました。

- 契約の金額：3億5827万4400円(税込み)
- 契約の相手方：因建設株式会社
代表取締役 因 善嗣
- 構造：木造 平屋建て 延床面積709.42㎡
- 工事期間：令和9年2月26日まで
(令和9年4月開所予定)



○議案第65号 財産の取得について(町立小中学校学習用タブレット端末)

小・中学校で児童・生徒が使用する学習用タブレット端末が更新されます。

- 契約の金額：2億5225万3386円(税込み)
- 契約の相手方：株式会社内田洋行 九州支店 支店長 坂口 秀雄
(福岡県GIGAスクール推進協議会による
公募型プロポーザルでの受託)
- 購入概要：タブレット端末(Chromebook コンバーチブル方式)
5301台(町立小・中学校6校計)
- 契約の期間：令和8年8月31日まで



総務建設常任委員会

自治体経営について勉強会を開催

実施日 令和8年4月22日(水)
 参加人数 議員8名
 テーマ 「自治体経営について
 ーふるさと納税を中心にー」
 講師 前大川市長 倉重良一氏



福岡県大川市でふるさと納税の推進に取り組み、寄附額の大幅な増額を実現した前市長の倉重良一氏による勉強会を開催しました。

講義では、ふるさと納税を増やすための具体的な取り組みや情報発信について説明がありました。実際の成功事例や課題への対応についての説明を受け、自治体の創意工夫が大きな成果につながることを学びました。

今回の講義で得た知見を参考に、今後も町の地域資源を生かしたまちづくりや財源確保のあり方について研究を深めていきます。

「第22回バラまつり」にて広聴活動を実施

日時 令和8年5月10日(日)
 10:30～16:00
 参加人数 町民24名 議員7名
 テーマ 観光と駕与丁公園の魅力向上について



駕与丁公園は遊びや運動ができる魅力ある場として評価される一方、駅からのアクセスや動線、駐車場、夏場の日陰不足、周辺店舗の少なさが課題であるとの意見をいただきました。

また、カフェやキャンプ場、釣りや水辺体験、ステージ設置など滞在・体験機能の充実が求められ、併せて水鳥橋の復旧や防犯対策、多言語案内、PR強化や集客力あるイベントの実施により、観光・スポーツ拠点としての発展を期待しているとのことでした。

今後も、広く町民の意見を聴き、駕与丁公園の魅力向上を町に提言できるように委員会活動を進めていきます。

文教厚生常任委員会

あれからどうなった？ 仲原小の学童に3年生が入れない

請願を全会一致で採択 一般会計補正予算に対する附帯決議

令和7年6月、住民団体から「1年以内に仲原小学校の学童保育の待機児童(48名)が解消されない場合、閉園予定の仲原幼稚園を学童施設として活用すること」を求め、請願が提出され、全会一致で採択しました。また、これと併せて、老朽化が進む仲原保育所の早期解決も急務であったことから、「学童保育の環境改善」と「保育所の改修」を同時に進めるよう強く求める附帯決議を付しました。



【かすや議会だより令和7年No.177夏号の記事は二次元コードから】

この1年間で町や議会は以下のような対策や調査を実施

- ・【令和7年 夏休み】他校での緊急受け入れ：町は定員に余裕がある「粕屋西小学童」で、仲原小の3年生を受け入れました。
- ・【令和8年4月】空き教室を学童に変更：町は仲原小学校の空き教室を1つ学童に変更し、定員を160人から200人(+40人)に増やしました。
- ・【令和8年5月】他自治体での取り組みを視察：委員会では福岡市の小学校を訪ね、放課後の学校を生かした子どもの居場所づくり(わいわい広場)を視察し、町に生かせるヒントを学びました。

待機児童数が大幅に減少

学童保育所名	定員数	入所児童数	待機児童数
大川小学童保育所	160	151	0
仲原小学童保育所(※教室増)	200	189	0
粕屋西小学童保育所	200	149	0
粕屋中央小学童保育所	160	159	8
合 計	720	648	8

学童保育所待機児童数(令和8年5月1日現在) (人)



子どもたちが放課後を笑顔で、安心して過ごせる「居場所」をつくることは、子育てをする全ての人が安心して働くためにも、とても大切なことです。これからも町の様子をしっかり見守りながら、子育てしやすいまちづくりを目指して取り組んでいきます。

◆その他の委員会活動

- ・令和8年6月4日(木)：大川小学校 避難訓練の様子を視察しました。

一目でわかる審議結果

令和8年6月定例会に提出されたのは、議案27件です。

議案番号	◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています)	採決結果	賛成(人)	堀本 高良	牟田 直輝	川崎 尚子	古家 昌和	田代 勘	杉野 公彦	案浦 兼敏	福永 善之	川口 晃	田川 正治	小池 弘基	本田 芳枝	宮崎 広子	山脇 秀隆	安藤 和寿	末若 憲治
40	専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部改正)	承認	12	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
58	令和8年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
59	令和8年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
64	財産の取得(消防ポンプ自動車)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席 ※議長は採決に加わりません



議案
64号

「財産の取得(消防ポンプ自動車)」 についての討論

可決

反対討論 ふく なが よし ゆき
福永 善之

反対の理由は、1km²に1台の消防車を配置する必然性がないから。町の面積は、約14km²。町には、常備消防の消防署が2つ、非常備消防の消防団が14分団(消防車15台)。以前は、常備消防がなく、非常備消防で消防車を所有する意義はあった。新しい設備を導入する場合、古い設備をやめるという考えが行政運営に必要な。

賛成討論 た しろ さだむ
田代 勘

近年の大規模災害では、消防団が地域防災の最前線で重要な役割を果たしている。本町においても、消防団は住民の生命と財産を守る中核的存在だ。消防ポンプ自動車の更新は、災害時の迅速・確実な活動を支える重要な投資であり、地域防災力の維持・向上につながることから、本議案に賛成する。

賛成討論 ほん だ よし え
本田 芳枝

有事の際に確実に機能するかどうかの判断が大切である。購入後19年を経過しており、たとえ現在走行できてもポンプ性能の低下、故障時の修理困難、災害時に故障のリスクなどを勘案すると購入すべきである。地域防災の要として各地域に備えることが大切である。

以下の議案は令和8年6月定例会にて全会一致で原案通り可決(承認・同意)しました

議案番号	◎議案名	議案番号	◎議案名
39	専決処分の承認(税条例の一部改正)	56	教育委員会委員の任命同意(本原 良光 氏)
41・42 43・46 48・51 53	農業委員会委員の任命同意 やすこう ちくにお ちようまさ はる たしろ み ち お やすこう ちわたる 安河内 郁男 氏・長 正治 氏・田代 三千雄 氏・安河内 渉 氏 とうしん いち しづ た たけ じ こばやし あ き こ 藤 信一 氏・渋田 武治 氏・小林 亜紀子 氏	57	令和8年度 一般会計補正予算(第1回)
44・45 47・49 50・52 54	農業委員会委員の任命同意(再任) いけだ よし お うりう しゅん じ にしむら しげのぶ やすかわ き よあき 池田 喜男 氏・瓜生 俊二 氏・西村 茂信 氏・安川 喜代昭 氏 やすかわ とし まさ まつ い のり こ えぐち のり こ 安川 利正 氏・松井 典子 氏・江口 典子 氏	60	令和8年度 介護保険特別会計補正予算(第1回)
55	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	61	工事請負契約の締結(有崎井堰 改修工事)
		62	工事請負契約の締結(粕屋西小学校 第1期大規模改修工事)
		63	工事請負契約の締結(仲原保育所移転改修工事)
		65	財産の取得(町立小中学校学習用タブレット端末)

粕屋町議会
イメージ
キャラクター
「かすカモ」



右の二次元コードより
本会議の様子をホームページでも
ご覧になれます。

▶
定例会
開会日



▶
定例会
閉会日



町政を問う 一般質問

令和8年6月
8日～10日実施

一般質問は定例会で行われ、粕屋町では会期の始めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問いただします。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答※で行います。 ※質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。
また写真なども議員提出によるものを掲載しています。
詳細は会議録【ホームページに掲載】をご参照ください。

掲載は
質問順と
しています。

P9 堀本 高良 議員

- ① 英語検定料助成事業の対象拡大は
- ② ドッグラン等で公園の活性化は

P10 福永 善之 議員

- ① 電話対応にAIを取り入れては

P10 安藤 和寿 議員

- ① かすたまちゃんを活用した戦略は

P11 山脇 秀隆 議員

- ① 中期財政見通しで赤字が続く主な要因は

P11 案浦 兼敏 議員

- ① 中小企業振興条例の制定を

P11 田川 正治 議員

- ① 河川の浚渫、改めて県に要望を
- ② 地震災害への対策は

P12 川崎 尚子 議員

- ① 寺子屋事業の環境差の認識は

P13 古家 昌和 議員

- ① 自治体のフロントヤード改革が町独自戦略では

P13 川口 晃 議員

- ① 農業用水路の浚渫等の支援は

P14 宮崎 広子 議員

- ① 施設の在り方や道路環境をどう考えるか

P14 杉野 公彦 議員

- ① 重層的支援体制整備、具体的事業は

P15 本田 芳枝 議員

- ① 公共公益施設の提案がないのか

学校教育課長

具体的な検証、検討には至っていないが、2級や準2級については検討の余地があると思う。高校生以上については、中学校教育に力を入れたいと考えており、検討はしていない。

堀本

具体的には至っていないが、2級や準2級については検討の余地があると思う。高校生以上については、中学校教育に力を入れたいと考えており、検討はしていない。

学校教育課長

同事業導入以降、多くの生徒が受験。英検は具体的な目標設定と達成感を提供する機会となり、合格した生徒の姿からクラスや学校全体として学習への取り組みが活性化していくと期待している。また、助成対象の拡大は来年度に向け新たな検討を行っている。

堀本

英語検定料助成事業の成果検証と対象拡大の再検討は。

学校教育課長

来年度に向け新たな検討をしている

英語検定料助成
事業の対象拡大は



ほりもと たかよし
堀本 高良 議員

動画はコチラから



町長

ワンヘルスは、始まったばかりで陣容もお金も必要だ。できる部分から始めたいと思う。

堀本

ドッグラン等を設置し、公園の活性化や充実を図る考えは。

都市政策部長

身近にワンヘルスの視点が学べ、興味関心を持ってもらえるように庁内を横断、連携して啓発施設としての活用を考えている。きっかけづくりを行った。

堀本

ワンヘルス啓発施設の進捗と今後の展開は。

町長

できる部分から始めたいと思う

ドッグラン等で
公園の活性化は



ふくなが
福永 善之
議員

動画はコチラから



電話対応に AIを取り入れては

総合政策課長

いずれは
導入を検討したい

北九州市は、8つある区役所の一つ、小倉北区役所で実証実験をした。窓口対応として、AIを一時対応、職員は個別対応で役割分担を設定。効果として、職員の電話対応の負担軽減があったようだ。町で町民向けにAIを導入した業務は。

窓口対応として、令和5年度に導入した「AIさくらさん」があるが、活用状況が思うように進まず、同7年度末に廃止。コロナ過の非対面の対応や外国語の対応で一定の成果はあった。

福永

電話対応の窓口は、一番人件費が掛かる所。AIを取り入れていくべきでは。

総合政策課長

AIは、過去の答弁データや資料から、瞬時に必要な情報を抽出でき、答弁書の作成における効率化や時間短縮に大いに期待できるものと考えている。しかし、最終的な事実確認や意思決定など、職員がしっかり責任を担うことが大前提。

福永

全国の地方自治体の中には、議員の一般質問における答弁書の作成にAIを活用。効果として、答弁書の作成において大幅な時間短縮があったようだ。

学校教育課長

まずは、教職員への研修など、教師におけるリテラシーの向上。次に、中学校を中心に限定的な授業。教育委員会は、学校現場が安心してAIを活用できる環境づくりを努める。

福永

小・中学校の児童・生徒に対するAIの活用は。

総合政策課長

電話対応に関しては、普通のシステムと比べ、AIのシステムを導入する経費が割高だ。いずれは導入を検討する。

都市計画課長

町が主催・後援するイベントは、消費機会の増加につながるよう今後の回遊性を高める工夫を凝らす考えだが、特定の地域固有の伝統行事については、性

安藤

町で従来続いていた「七鳥居くぐり」、回遊性を持たせる仕組みから、インバウンドを加味した観光戦略は。

都市計画課長

ブラックバスなどは、特定外来生物に指定され、釣り場としてPRすることは好ましくなく、環境整備は難しい。

安藤

町の限られた観光資源から、駕馬丁池を人気の釣り場として環境整備をする考えは。

総合政策課長

かすたまちゃんを 活用した戦略は

効果的なアプローチの
展開につなげたい



あんどう
安藤 和寿
議員

動画はコチラから



質上、行政が主導し、観光資源として位置付けることは慎重であるべきと考える。

安藤

かすたまちゃんのミュージックビデオが令和8年度の全国広報コンクール総務大臣賞映像部門賞を受賞した。かすたまちゃんを活用した今後の戦略は。

総合政策課長

かすたまちゃんをフックに、町のブランド力向上に向け、継続的にプロモーションに取り組みたい。また、ゆるキャラグランプリの後継イベントのゆるバスへのエントリーを、かすたまちゃん存在感をアピールする絶好の機会になると捉え、効果的なアプローチの展開につなげたい。





やまわき
山脇 秀隆
ひで たか
議員

動画はコチラから



中期財政見通しで赤字が続く主な要因は

財政課長

歳出規模が増加傾向にあることが要因

山脇

中期財政見通しで赤字が続く主な要因は。

財政課長

扶助費や人件費、公共施設整備事業に伴う、公債費などの義務的経費と、物価高騰や労務単価の上昇などにより、物件費や普通建設事業費も増加傾向にある。歳出規模が増加傾向にあることが、構造的な要因だ。

山脇

抜本的な財政対策が必要と判断する基準は。

財政課長

当初の財政と調整基金の取崩し額7、8億がラインだと思う。

山脇

公共施設整備事業のうち、延期、縮小、分割の検討対象となる事業は。

財政課長

改修に係る予算、起債の関係、補助金の関係が、延期か縮小かの判断材料になる。庁舎の改修、また学校関係も一部延期等をさせている。

山脇

公債費の急増を抑制するため、事業の実施時期や償還期間の見直しをどのように検討しているのか。

財政課長

各事業の緊急性や必要性を精査の上で、事業の延長、縮小等を検討。また、単年度の事業費や町債額の平準化及び抑制を図っている。今後は、各事業の内容、対象施設の耐用年数、借入利率等を勘案して、単年度の公債費を抑制するよう、償還期間をなるべく長くできるように、延長を検討している。

山脇

基金の取り崩しと町債発行のバランスをどのように判断しているのか。

財政課長

持続可能な財政基盤を維持する観点から、基金の目的に沿って、計画的に活用する。



あんのうら
案浦 兼敏
かね とし
議員

動画はコチラから



中小企業振興条例の制定を

町長

先進自治体を調査研究したい

案浦

町における創業支援について、創業塾の実施状況は。

産業振興課長

創業塾は、粕屋町、篠栗町、新宮町、久山町の4町と各町の商工会が連携し、実施している。

案浦

八代市の「未来創造塾」では、地域の課題をビジネスで解決する人材（ローカルイノベーター）を育成し、地域経済だけでなく、地域コミュニティの活性化を図っている。このような取り組みを町でも検討できないか。

町長

ローカルイノベーター、これは地方を元気にする原動力と思う。町で実現可能か、検討したい。

案浦

経営基盤が脆弱な小規模事業者への支援策として、県や他の自治体で行われているように、国の補助事業を活用して事業を行う者への上乘せ補助を検討できないか。

産業振興課長

商工会の意見も反映させる必要があるため、今後協議を行いたい。

案浦

商工会青年部のほとんどが小規模事業者で、地域経済の発展を図るとともに地域活動にも参加している。小規模事業者が果たす役割について、どのように捉えているか。

町長

町の経済だけでなく、人的なネットワーク、人づくり、地域づくりなど、町の活性化に大きく貢献されており、積極的に支援したい。

案浦

中小企業振興の基本理念、施策の方向性などを定めた「中小企業振興条例」を、全国的には3割を超える自治体が制定している。条例を制定してはどうか。

町長

先進自治体の調査研究を行い、今後の検討課題としたい。



たがわ まさはる
田川 正治 議員

動画はコチラから



河川の浚渫、
改めて県に要望を

町長

県に強く要望する

くばらの久原川と猪野川の土井堰から雨水橋までの、多々良川の浚渫の要望が地域から出ている。改めて県に対して要望を。

多々良川の状況は非常に分ける。県は、多々良川下流から整備を行うので、強く浚渫の要望をしていく。

併せて、須恵川も浚渫工事が止まっているので再開を強く要望していく。

災害対応として、区画整理事業で地下貯水槽や貯留池などを設置してもらいたい。

土地区画整理事業など大規模な宅地開発には、土地利用形態の変更に伴い、開発区域内で地下貯水槽など雨水調整池の設置の協議を行い、下流側への雨水の流出抑制を図っている。

地震災害への対策は

地域共創課長

備蓄品等の見直しを踏まえ、防災計画を改定

警固断層や西山断層、宇美断層が町の周辺区域にあり、地震が発生すると影響が大きいと思う。災害への対策は。

昨年10月に県が見直した防災アセスメント調査で、今回から宇美断層が追加され、避難者数に算入された結果、想定避難者数が大幅に増えた。

今後、備蓄品等の見直しを踏まえ、地域防災計画の改定を行う。

災害時に安定した給水を継続できるために、水道管の耐震化を毎年度、計画的に進めている。特に重要となる基幹管路は、令和元年度から5年度にかけて、重点的に耐震化を進め、耐震適合率は、90%を超える状況だ。

その他の質問

● 原発事故災害の対策と計画について



かわさき なおこ
川崎 尚子 議員

動画はコチラから



寺子屋事業の
環境差の認識は

社会教育課長

必ずしもWIFIによる地域間格差はないと認識

地域学校協働活動推進員の活動の成果をどう受け止め、評価しているか。子ども会育成会連絡協議会が担っていたジュニアリーダー育成などの機能は、どのように引き継がれたのか。

粕屋中で開催した「夢授業」は、推進員が橋渡しとなり、地域の力と学校の教育活動が連携した成果だ。リーダー活動等について、連携を図るならば、推進員や学校と保護者をつなぎ、活動の一つにしたい。

青少年育成の取り組みが特定の方の献身的な活動に支えられている現状は、持続可能性の面で課題ではないのか。

教育長

地域活動は、自助・共助・公助の中で、共助が最も大切だ。一人でも多くの方が、協力的な気持ちで地域づくりに参画いただくことを今後も続けたい。

寺子屋事業では、公民館のWIFI環境の差が、学びの機会や体験の差につながる懸念がある。現状の認識は。

各行政区公民館はいろいろな状況がある。寺小屋事業は宿題だけでなく、レクリエーションやものづくりなどの子ども居場所づくりを行っており、必ずしもWIFI設置がないことによって、地域間の格差はないと認識している。

これからの10年、20年を見据え、子どもたちにどのように育てほしいのか。

地域を愛し、根を張って貢献する子どもを育てたい。

やはり「シビックプライド」だ。住んでいる所を愛し、社会的発展の一助となる人間力を育てることが、まさに教育だ。



ふるいえ
古家 昌和 議員

動画はコチラから



自治体フロントヤード 改革が町独自戦略では

町長

町の特色として、
今後検討したい

町は県内で先駆けて、令和4年にパートナーシップ・ファミリースhip制度を導入したが、町民生活にどのような変化があったのか。また、なぜ導入を決意したのか。

多様性ある社会では、さまざまな方を受け入れることが、町の魅力の一つだと思う。

県下9市3町で連携協定を締結し、制度の申請を開始。例えばパートナーシップ関係にある二人を事実上の婚姻関係同様とみなし、町営住宅の入居申請や保育所入所の際、同居し監護状況であれば保護者として申請が可能で、協定先でも引き続き認定される。人権担当も交え説明を行っている。

古家

ステップファミリー（子連れ再婚家庭）が直面する不便について町の対応は。

住民福祉部長

ステップファミリーであるかどうかに関わらず、全て同様の対応を行っている。

古家

ステップファミリーについて、正しい理解と支援を得るための啓発冊子の作成、伴走型ワンストップ窓口の設置、部局を超えて連携する庁内相談コンシェルジュのような仕組みづくりを提案する。いわゆる総合計画に掲げる自治体フロントヤード改革だ。住民と直接向き合う窓口をがらりと変え、親切で先進的な改革をすることが、町の強力な独自戦略になると思うが。

町長

困難を極めている方に寄り添いながらの相談対応はできているが、伴走型についてはできかねている。町の特色として、今後検討したい。



かわぐち
川口 晃 議員

動画はコチラから



農業用水路の浚渫等の 支援は

産業振興課長

条例等に基づき
支援を行っている

農業用として昔から利用してきた幹線水路は、水路の幅も広く、底も深く、水流も早く、清掃には危険を伴う。5年程前までは10数名でにぎやかに清掃したが、3年程前から1人欠け、2人欠け、今年は5人で作業した。今回、問題としている流水の分岐点は、昨年から目立って泥がたまり、草も茂り、今年の美化作業では、「もう、ここの浚渫は諦めよう」と下流域を清掃した。

農区の人員も少なくなり、また高齢になり、満足な溝の管理が不可能になっている。できるだけ地元で作業はするが、困難な場所の管理は町の支援が必要だとの意見が大半だ。どこの区も

川口

こうした農水路の管理は頭を悩まされている事だと思う。
支援に関し答弁を求める。

産業振興課長

現地を確認したが、土砂の堆積もあり、草も繁茂している状況だった。農業用水路については、高さ、深さも1m程度で、水利権の関係上、関係農区の維持管理という区分になる。
助成に関しては、関係農区から要望書が提出された場合、「粕屋町公共（農業）用施設管理区分及び建設事業費負担条例」に基づき、地元負担が25%となるが、浚渫などの実施は町が検討する。別の規則を用いると、農区が工事をした場合、5万円以上が対象だが、その場合は地元負担が50%になる。

その他の
質問

● 地域公共交通の利便性を向上させるための問題について



みやざき ひろこ
宮崎 広子
議員

動画はコチラから



施設の在り方や道路環境をどう考えるか

町長

本当にいいまちづくりに努めたい

宮崎
駅で駐輪禁止の場所に、駐輪している自転車への対応は。

都市計画課長
シルバー人材センターの業務で駐輪場の清掃と自転車の整理、通路の妨げになっている自転車の移動を行っている。

宮崎
マナー違反の自転車に「ここは駐輪場ではありません。駐輪場にお止めください。ほかの方が迷惑していますよ」と書いた紙を貼っているのか。

行っていない。

宮崎
点字ブロックの上に止めるのはダメだと思うが、駐輪場を増やせないか。

都市計画課長

現状ある駐輪場を少しでも使いやすいように、今後も検討していきたい。

宮崎

第6次総合計画にあるウェルビーイング指標偏差値が、最も低い「多様性と寛容性」の視点から、町の施設の在り方や道路環境をどう考えていくのか。

町長

町のいい所の一つに快適性、便利さがある。駅を降りて、自転車が乱雑に置いてある景観はマイナス指標。人口が増え、町が活気づいたことは非常にうれしいが、公共施設やさまざまな設備不足は認めざるを得ない。本当にいいまちづくりに努めたい。



点字ブロック上の駐輪

その他の質問

- 教師の働き方改革について
- 教育活動の向上について



すぎの きみひこ
杉野 公彦
議員

動画はコチラから



重層的支援体制整備、具体的事業は

福祉課長

包括的相談支援体制から着手したい

本年度、施政方針には高齢・障がい・子ども・生活困窮などの複雑化、複合化した地域生活課題に対し、分野を超えた重層的支援体制の整備を進めるとある。

現在、どういう取り組みを進めているのか。具体的な事業は。

令和9年度からの確立に向け、準備期間として取り組みを進めている。属性や世代を問わず、包括的相談支援体制の整備から着手したい。

昨年出された基幹相談支援センター設置の請願がきっかけとなり、重層的支援の話が起ってきたのか。

関連はなかったが、今後は関連してくる分野となると思う。

福祉課長

基幹相談も重層的支援の相談事業の中に、相談機関の一つとして入ってくるので、前向きに取り組んでいく。

杉野

重層的業務という観点では、庁舎内にはそのような業務が多くあると思われる。住民福祉部だけの話では無いと思うが。

町長

今までの行政組織は縦の組織だったが、横断的組織に変わっていく。なおかつ、広域的な外部団体との連携も一つの重層的支援だと思う。また、町では今年度新たに、重層的に業務を行うため経営責任者を置いた。

杉野

4、5年で人事異動する行政職員の知識だけでは「あれもこれも」はできない。重層的に業務を行うパートナーとしては、民間でもよいのでは。

町長

さまざまな事業に関し、民間の力を借り、協働で行っているのが実情。今後新たな展開を、私も大きく期待している。



ほんだ
本田 芳枝
議員

動画はコチラから



公共公益施設の 提案はないのか

都市計画課長

詳細を詰める段階で
協議する予定

本田

多額の公費投入が必要になる九州大学農場跡地取得について、本年4月に九州大学跡地まちづくり協議会の報告があった。その中で九大農場跡地構想3案の提示があったが、都市計画マスタープランで基本構想として記載されている公共公益施設の提案はないのか。

都市計画課長

今検討中の3案は住宅、商業、にぎわい交流などの大きなゾーンを区分けし、示したものだ。このゾーンの中の詳細を詰める段階で、必要な施設の把握、検討については事業協力者と協議をする予定だ。

副町長

大規模な公共施設は想定されていない。本当にどのような公

副町長

共施設が要るのか、町と県に調査をかけて、必要な公共施設があれば、洗い出しをしていきたい。

本田

町民のニーズを把握もせず、九大農場の取得を考えているのか。

副町長

都市計画マスタープランで住民アンケートを取っているが、必要な公共施設は、まだ明確にできていない状況だ。

本田

協議会のスケジュールでは、令和8年に土地利用構想図の修正と策定が行われ、町民への情報公開、意見公募など町民ニーズの把握はどうなっているのか。土地利用構想ありきにならないか。住民に対する説明、周知は。

都市計画課長

まちづくり協議会には跡地区域の行政区の代表の方に入ってもらい、地元地域の意見をいただいている。公募による事業協力者が決定し、事業計画を詰めていく際には説明会を行うことも考えている。

編集後記

議員1期目として2年目に突入。日々、新しい発見と学びの連続です。議会だよりは、委員全員で言葉一つ一つ、写真一枚一枚に思いを込めながら作っています。「最新号を見たよ」と声をかけていただくたび、とてもうれしくて心が温かくなります。皆さまと議会をつなぐ身近な架け橋として、これからも心を込めてお届けしていきます。

なおこ

お知らせ

次回 9月議会は・・・

9月11日(金) 9:30 開会(予定)

9月28日(月) 9:30 一般質問(予定)

.....
議会は、手続き不要で傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、役場3階にお越しください。



あなたのモラルで、助かる「命」があります

©2011 NPO法人はあとスペース

UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

発行：粕屋町議会 編集：議会広報常任委員会 〒811-2392 福岡県糟屋郡粕屋町駕与丁1-1-1 TEL：092-938-2311(代)

委員長：古家昌和／副委員長：川崎尚子／委員：山脇秀隆・小池弘基・安藤和寿・杉野公彦・牟田口直輝・堀本高良
発行責任者：議長 末若憲治 印刷：久野印刷株式会社

挑む議会に、挑む町民の声を!

第2期

粕屋町

CCP
Co-Creative Partner

議会モニター

粕屋町の未来を共にカタチ創る
パートナーを求めています

20名
募集!!

主な活動内容

- ・議会の傍聴(ネット配信 視聴可能)
 - ・各種広報への意見(議会だより・SNS)
 - ・意見交換会の参加 など
- ※無理のない範囲でOK!

対象

粕屋町に住む・通う18歳以上の方

応募締切

令和8年9月13日(日)

詳細は粕屋町議会ホームページを参照

<https://www.town.kasuya.fukuoka.jp/li/080/index.html>
※本紙 表紙のQRコードから

お問い合わせ

粕屋町議会局
TEL:092-938-0161
gikai@town.kasuya.fukuoka.jp

応募は
コチラから



皆さまのご応募をお待ちしています!